

Oraclum に行こう

90 日目のつづき。

前回のクソワンダリングを経て、Neruzavin にあるランドマークの最後の 1 つ Oraclum に向かう面々。そこは、外に面した 4 つの階段で上階に登れる 2 階層の建物だった。

Forbiddance が貼ってあるようで、近づくだけで苦痛を覚え、それをうけて全員バフを始める。

上に登ると、Huge の巨人が書物を眺めてウーンウーンと唸っている。周囲には羊皮紙が散らばっている。どうやら Moon Giant という種族らしい。

Giant 語がわかる Mee が交渉するが、難解な問題を投げかけられあしらわれる。天才 Lyushin が代わって問題にうまく答えるも、やっぱり彼はそこをどうともしない。誰かに金を払ってここを使わせてもらっているため、邪魔は嫌だという感じ。

Mee が「何か対価があればいいか？」と聞くと、5000GP はほしいと言う。ドロップ品にあった +1 武器を 5 本渡したのに加え、頭がいいことも示していたため、相手の態度は軟化した。

どうやら彼は下にいるナーガからこの部屋を借りて、宇宙の観測をしているらしい。しかし、上弦の月は観測の邪魔かつ精神にも悪影響を及ぼすため、ちょっとイライラしてた様子。後から来たロールズがより高いお金を払って巨人を追い出したことがあり、得られるはずのデータが得られなかったこともまた彼のイライラの種。

しかし態度軟化で Friendly まで行ったので、Star Stela の使用权をもらうことには成功した。

だが、Lyushin と Mee による儀式は一度失敗し、その気配を感じたナーガたちが下からやってきて問答無用でイニシアチブとなる。後日談だが、ナーガは先にロールズに騙されていたので同じ儀式をするやつを目の敵にしていたようだ。

先手をとった Star-sworn Naga(Lunar Naga にさらに盛った奴)3 体はさっそく Cone of Cold を 3 連発し、味方は倒れはしないまでもボロボロ。相手はソーサラー型なので次も同様の攻撃が飛んでくる可能性があり、飛行するので分断もできず、Mind-affecting すら効かない。Mayu が休憩中なのもあってかなりヤバげなエンカウンターであると判断。仕方なく Mklwh が Dimension Door を全員に Lunging Touch して離脱、仕切り直し。

バフを盛ってすぐさま再戦。

しかし相手は Sorcerer なので火力モリモリ、Fireball や Lightning 等も乱発、やはりダメージは大きい。Lyushin の渾身の Dispel Greater(2 回リロール)によってバフを剥ぐも、その上で Axe と Mklwh のフルアタック 4 回でようやく沈むほどの太さ。強敵である。

1 人目のとどめを刺した Mklwh に対し Disintegrate が 2 本飛んでくるが、1 本を Blur で回避、1 本はセーブで耐える。その後散開しながら Dispel しまくるキャスター陣に対し、ナーガは前衛を無視して Disintegrate を撃ちまくるが、Counter したり耐えたりでなんとか粉化は避ける。

こちら全員が Dispel できる状況でもかなりギリギリに呪文を封じながら、最終的には死者なしで削りきった。

ナーガが住んでいた 1 階の部屋に入ると、天井は満点の星々が描かれている。Lyushin は Geography 知識を発揮し、これが「別の星系から見た星図」であると見抜く(RP 的に最初に見抜いたのは Mklwh)。×印で描かれた星がゴラリオン太陽系なのだ。漁ると強そうな Staff を含めていろいろ見つかるが、Mee が喉から手が出るほどほしい Cha ヘッドバンドを含めて、ナーガ自身

は何も持っていなかった。

あらためて儀式を行い、今度はいい出目で成功させる。疲労困憊なのでそのままナーガの部屋で一晩休むことに。

地下への道を探せ！

91 日目。

カクラタスは言う。「まだカルコサに行くべきではないと思う。Polyp の封印が緩んだままだからね。地下の封印をしないとだ。その場合は地上の心配事を済ませて背後をクリアにしておく必要があると思う」

というわけで、スナールの未探索区域を探り、敵を片付けておくべきようだ。

Lyushin は Shadow Conjuraton で Phantom Steed をエミュレートして Mklwh に乗騎を用意することができたようだ。よかったね！

長時間バフをしてスナールに向かう。入り口のご老人に挨拶すると、また着いてくる。

Star Stela の奥のほうに向かうと、広間に出ようとしたところで前衛の Axe を巻き込むように Stinking Cloud が立ち込める。奥の敵が何かしたようだが無音だったため罠の可能性を拭いきれない……が、すぐに羽音が近づいてくる。虫の大群だ！

前に出た Axe は Hallucinatory Terrain を見抜く。どうやら本当は水溜りの地面を岩の床に見せつけてたようだ。

Lyushin がさっそく先ほどの Staff を使って Gust of Wind を使い羽蟲の一群を吹き飛ばす。Mklwh が Fireball を使うがどうやら Immune の様子。だが冷氣には耐性がなかったようで、Cone of Cold で Swarm のほとんどは散らかされる。

妙に口のでかい怪物(名前失念)が水の中に潜んでおり、そいつが集中すると水が沸き立ち Fire ダメージを与えてくる(Axe は耐える)。Medium のでかい羽蟲っぽいクリーチャー (Div Druj-Nasu) はうるさい羽音を立てて、確率で Nauseated にしてきたりする。だが殴りはさほど痛くなかったため、ほぼ損失もなく討伐できる。

ご老人いわく、巡礼者を襲う悪いやつだとのこと。

水に満たされた大部屋の南東には黄土色に塗られた祭壇がある。1 つだけ Magic な Bastard Sword があり、これこそが Upiance (ゴースト) の探しもの (Teralindar's Honor) のようだ。異形バインのバツソのようだが、まだ真の力を発揮してはいない様子。

南下すると、スナールの南の入口がある。

西の入り口にはレベルが下がるほどに剣呑な絵画が描かれていた。こっちにも何かあるに違いない、と一行は Axe を先行させ、ソーシャルディスタンス 30ft. を取って着いていく……が、残念ながらホーンの効果範囲は 40ft. だった。

またしても壁が光り、ホーンにかかった者はヴィジョンを見る……『グレートアックスを持った女騎士が空を見上げるとメテオが迫る、「ロバガグ様に栄光あれ！」と叫び、建物は崩れ燃え盛るデブリが積み重なっていく』。見たものは呼吸ができない！ (Mass Suffocation) Lyushin が食らって HP が 0 になるものの昇天は免れる。

ホーンのと場所に錆びた脛当てが挟まっていた。Axe がそれを外気にさらしてみるが特になし。Mee が Speak with Haunt をすると「私はまだこの世に存在している、滅ぼさない限り恨みは解けない」とわかる。どうやらどこかにアンデッドとして存在しているようだ。

デヴィルとの取引

91 日目つづき。

西に進むと、玄武岩の中に掘られた区画に至る。まるで書斎のようにさまざまな書物が奥にある。かなり強い悪のオーラを感じる（Unhallow だったようだ）。

暗闇の向こうから「おやおやご客人、何の御用ですか？」と Infernal で声が聞こえてくる。光を向けると、骨ばった悪魔 2 体（Bone Devil）、風船のように膨れた変な Huge 野郎（Heresy Devil）が浮遊する椅子に座っている。

Infernal がわかる Lyushin が交渉に乗るが、Heresy はすぐ Common で話し始める。

「Polyp の封印をしなおしたいんですけど、協力できる？」→「対価は何か？」

「あなた達は何ができる？」→「たいいていの言語は読めるし、書物の複製も得意だ」

「魔法書のコピーは？」→「もちろんできるよ。対価は写すものによる、面白ければ安いぞ」

PT がいろいろ相談してるうち『ネクロノミコン』というワードが出ると、相手は大変興味を示し、タダでコピーするよ！と申し出てくる（アルコンが困る、という事実がお気に召した様子）。ただし、「複数のコピーのうち 1 つを私が持つ」という条件つき。

普通コピーには 3 日かかるが、何か手助けしてくれたら特急入稿も請け負うという……例の Otyugh の死体を持ってきたら、という条件。アルコンは絶対にネクロノミコンの使用を嫌うから、余計な血を流さないようにしようね、と説得もしてくる。

「悪魔にネクロノミコンを写させるなど言語道断だ！」と Axe はおかんむり。反対多数ということで、申し出は断る。去り際、Lyushin にだけテレパシーが来る……「気が変わったらいつでもご連絡くださいね！」などと。それ以降も事あるごとに念話が飛んできていたようだ。

西口の南のほうに行くと、上り坂のうえ、玉座に黄色い衣を着た何者かがいる。

「Saffron-Prince の御前であるぞ、控えおろう！（裏声）」「よいよい、何用で来たか答えろ（地声）」などと 1 人 2 役で喋っている。私はハスターから力を継いだものだ、と名乗る狂人に「ハスターの下僕は死ね！！！！」と Axe が斬りかかる。

Mee は「お前は裸の王様じゃないか！」と挑発すると相手はブチ切れて Mee を最優先ターゲットに据えた模様、わざわざ Dimension Door で後ろに回り込んで来る。Lyushin が Major Image で「Lyushin の手勢と Prince の手勢が現れて目の前でぶつかり合い Lyushin との視線を切る」ように幻覚を作ると、Prince は看破したうえでノッて「それは幻影だ！！あの魔術師を倒せ！！」と叫ぶ。

Mee に近づいた Prince は全力攻撃、クリティカル→掴みかかり→締め上げできっちり殺害してとりあえず溜飲は下がった模様。Breath of Life で復活するも、これ以上殴られたくないので死んだふり、Rogue モードの Mee は迫真の Bluff50 でうまく欺く。かわりに Youl に Feeblemind が効いて呪文行使が不可能に。

次のラウンド、狂人は「お引きください Prince 様！（裏声）」「くそっ、悔しいがここまでだ、さらば！（地声）」と、Mee の Dispel をかいくぐって Dimension Door、逃げ去ってしまう。

スナールは全域をクリアしてしまったが、地下への通路は見つからない。

行き詰まった一行は、休憩中の Mayu と合流するため一度 Upiance のところまで戻る。剣を返すと、「地下封印への道は Reverse Gravity の通路の 1 つのところにあり」というヒントを貰えた。

まだまだリソースはあるので、次回はそこから冒険再開となるだろう。

備忘録

- ・ 次回開始時に Mayu に Heal を使ってもらい、Youl の Feeblemind を直してもらおう（予定）
- ・ Star Stela で転移するにはもう一度どこかで 60 分の儀式を行う必要あり。その前に最後の補給を済ませよう！

ロールパン（道中精算を除く）

- ・ Lyushin+1（天体知識）
- ・ Mee+1（お金を出す）
- ・ Mee+1（巨人との交渉）
- ・ 全員 +2（デーモンの前での葛藤劇）
- ・ Lyushin+1（Major Image）
- ・ Mee/Axe+1（挑発）